

4月下旬～5月末日／小・中学校児童生徒に対する昼食支援&杉戸町飲食店応援緊急プロジェクト
昼食配布で家庭を支援、飲食店を応援！



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休校措置により在宅中の児童生徒（希望者）に対して、無償で昼食（弁当）を配布する支援を行いました。また、これは全国的にイベントの中止や外出自粛などが広がり、苦境に置かれている中小事業所（飲食店）を応援する「杉戸町飲食店応援緊急プロジェクト」として実施しました。

古谷町長コメント：困っている方々に対して、今できることをできるだけ早くとの思いと、少しでも小・中学生や保護者並びに町内の飲食店への一助になればと思い、実施しました。

飲食店主コメント：売上が減少する中、お店の味を小・中学生に食べていただく機会を設けていただき、本当にありがたいです。少しでも、お弁当で元気を届けられればと思い作りました。

保護者コメント：私も仕事が大変な時もあるので、利用させていただいてとても助かっています。

▲商工観光課・社会教育課

5月中旬／町内巡回バス

町内巡回バス『あいあい号』が変わりました



（ノンステップバス外観）



（ワンボックスカー外観）



（ノンステップバス内の表示）



（ワンボックスカー内の表示）

町内巡回バスは、令和2年4月1日から運行コースや運行便数等の見直しを行い、新たな車両を導入しました。新車両は、乗り降りしやすい32人乗りのノンステップバス（東コース）1台と10人乗りのワンボックスカー（西・南コース）2台の計3台で運行中です。

◆ノンステップバス（東コース）には「すぎたろう」、ワンボックスカー（西・南コース）には「すぎびよん」のデザインがされています。

◆車内にはモニターを設置し、次のバス停留所の案内が分かりやすいように表示されています。

◆利用者の皆様に愛着を持っていただくよう、新しいロゴマークを作成しました。



▲住民協働課

5月13日(水)／杉農教職員及び役場職員との植栽
高校生が蒔いた花で町を元気に



杉戸農業高等学校の生徒が、今年の1月に種を蒔き、緊急事態措置の影響で休校により生徒が登校できなくても、その間、教職員の方が懸命に育て、見事な花を咲かすことができました。しかし、今年の即売会が中止となり、今、満開を迎えている花は、行き場を失ってしまいました。

そこで、学校では、杉戸町役場に来庁された方々に、元気に咲き誇った花を見て、少しでも元気になっていただきたいという思いから、これらの花々を教職員と役場職員とのコラボにより、役場敷地内の中庭に植栽することとなりました。

当日は、初夏のような天気恵まれ、杉戸農業高等学校・都築校長先生を含む教職員と、役場職員が協力して、当初の予定を大幅に上回る約1,200本もの花々を定植したことで、役場の花壇が華やかに彩られました。

▲農業振興課

5月8日(金)／ハンドジェル寄付贈呈式

ハンドジェルの寄付をいただきました

杉戸管工事業協同組合様から、地域のために役立てていただきたいとのご意向を受け、アルコール洗浄タイプハンドジェル144本の寄付をいただきました。

▲財産管理課



（写真右から）熊谷専務理事、関根理事長、古谷町長

古谷町長コメント：大変ありがたく、ハンドジェルは、町内の小・中学校等に配布したいと思います。

関根理事長コメント：ぜひ地域のために役立てていただきたいと思い、寄付をしました。

5月12日(火)／災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定調印式

安心・安全を確保し、防災力の向上をめざして

町では、災害対策を進め、安心・安全を確保し、防災力の向上のため「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を社会福祉法人杉風会と締結しました。

▲くらし安全課



（写真左から）中里施設長、杉風会金森理事長、古谷町長

本協定は、大規模な地震、風水害及びその他の災害が発生した場合において、社会福祉法人杉風会が運営する施設を、要配慮者を対象とした避難所として設置運営を目的としています。

5月13日(水)／マスク寄付贈呈式

手作りマスクの寄付をいただきました

杉戸町商工会女性部様並びに公益社団法人春日部法人会杉戸支部女性部会様から、地域のために役立てていただきたいとのご意向を受け、手作りの布マスク340枚の寄付をいただきました。

▲財産管理課



（写真右から）鈴木副部長、田沼部長、古谷町長、宮田部会長

古谷町長コメント：皆様が地域のために手作りの布マスクを寄付していただきましたことを大変ありがたく感じております。

田沼部長コメント：みんなのできることを協力しながら乗り越えていきたいと考え、寄付をしました。

4月16日(木)～／＃杉戸エール飯

「テイクアウト&デリバリー」で町内飲食店を応援！

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う外出自粛等による影響で、厳しい経営環境にある町内飲食店を応援するため、SNSを活用した「＃杉戸エール飯」プロジェクトが、4月16日(木)より始動しました。テイクアウトやデリバリーについて、飲食店の皆様は、お店や商品の情報発信が可能になります。また、町民の皆様は、お店の味を自宅で楽しむことや、まち全体の活性化につながると考えています。

▲商工観光課



この「＃エール飯」は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、大分県別府市から始まったプロジェクトで、全国的な広がりを見せています。

※大分県別府市より、素材の提供を受けて実施しています。



（QRコード）

5月1日(金)／マスク寄付贈呈式

子ども用マスクの寄付をいただきました

地域の子ども達のために役立てていただきたいとのご意向を受け、地域で会社を営んでいる6名の方々から、町へ子ども用マスク2,400枚の寄付をいただきました。

▲財産管理課



（写真前列右から）まちの接骨院グループ馬場様、古谷町長、伊藤教育長

古谷町長コメント：皆様が地域の子どものためにマスクを手配し、寄付していただきましたことを大変ありがたく感じております。

馬場様コメント：地域の子どものために役立てていただきたいと思い、仲間とともに寄付をしました。

5月1日(金)／寄付金贈呈式

感染症対策のために寄付をいただきました

災害時における応急対策業務等に関する基本協定書を締結している杉戸町建設協力会様から、町へ現金100万円の寄付をいただきました。

▲財産管理課



（写真前列右2番目から）栗原会長、古谷町長

古谷町長コメント：寄付をいただきましたことは大変ありがたく、新型コロナウイルス感染症対策費用として、有効に活用させていただきます。

栗原会長コメント：新型コロナウイルス感染症対策にぜひ役立てていただきたいと思います。